

【日の出入り・月の出入り表】

2024年 9月

提供：国立天文台

日	日の出 時:分	南中時 時:分:秒	高度 度	日の入り 時:分	月の出 時:分	月の入り 時:分	月齢 12:00	備 考
1	5:55	12:21:06	65	18:46	3:52	18:02	27.7	
2	5:56	12:20:46	64.6	18:45	4:51	18:30	28.7	天王星が留※1
3	5:57	12:20:27	64.2	18:44	5:49	18:56	0	新月
4	5:57	12:20:07	63.9	18:42	6:45	19:19	1	
5	5:58	12:19:47	63.5	18:41	7:39	19:43	2	水星が西方最大離角※4
6	5:59	12:19:27	63.1	18:40	8:34	20:06	3	
7	5:59	12:19:07	62.7	18:38	9:29	20:32	4	白露※3
8	6:00	12:18:46	62.4	18:37	10:26	21:00	5	土星が衝※2
9	6:01	12:18:25	62	18:36	11:26	21:34	6	
10	6:01	12:18:04	61.6	18:34	12:26	22:13	7	
11	6:02	12:17:43	61.2	18:33	13:28	23:01	8	上弦
12	6:03	12:17:22	60.8	18:32	14:27	23:58	9	
13	6:03	12:17:01	60.5	18:30	15:22	--:--	10	
14	6:04	12:16:39	60.1	18:29	16:11	1:03	11	
15	6:05	12:16:18	59.7	18:28	16:53	2:13	12	
16	6:05	12:15:56	59.3	18:26	17:30	3:26	13	敬老の日
17	6:06	12:15:35	58.9	18:25	18:03	4:39	14	
18	6:07	12:15:13	58.5	18:23	18:35	5:51	15	満月/部分月食(日本では見られない)
19	6:07	12:14:52	58.1	18:22	19:06	7:04	16	彼岸の入り
20	6:08	12:14:30	57.8	18:21	19:39	8:16	17	
21	6:09	12:14:09	57.4	18:19	20:16	9:30	18	海王星が衝※2
22	6:09	12:13:48	57	18:18	20:58	10:43	19	秋分※5、秋分の日
23	6:10	12:13:26	56.6	18:17	21:46	11:54	20	
24	6:10	12:13:05	56.2	18:15	22:41	13:01	21	
25	6:11	12:12:45	55.8	18:14	23:41	13:59	22	下弦
26	6:12	12:12:24	55.4	18:12	--:--	14:49	23	
27	6:13	12:12:04	55	18:11	0:43	15:30	24	
28	6:13	12:11:43	54.6	18:10	1:45	16:05	25	
29	6:14	12:11:23	54.3	18:08	2:45	16:34	26	
30	6:15	12:11:04	53.9	18:07	3:43	17:00	27	

* 佐世保市(東経129° 43', 北緯33° 10')を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。

※1 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動(順行)していきように見えますが、時に東から西へ移動(逆行)することがあります。その移動の方向が変わる瞬間を「留」と言います。その後、再び西から東へ移動するようになる瞬間にも「留」となります。

※2 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなります。(最も大きく見えます) 内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※3 二十四節季の一つ 意味:しらつゆが草に宿る。

※4 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。

※5 二十四節季の一つ 意味:秋の彼岸の中日。太陽が真東から昇り、真西に沈む。昼夜の長さがほぼ等しくなる。